

降誕前第6主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏 (黙祷)
「アンダンティーノ」
A.ラインハルト作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/467 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編95篇6～11節

【み言葉の礼拝】

聖 書
✦エズラ書 8章 21～23節
✦マタイによる福音書 4章 1～11節
(旧約 P.733、新約 P.4)
応 答 唱 讃美歌 21/85 番
教 話 井上隆晶牧師
『現実を前にして』

使徒信条

【聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り (連祷)
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/453 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉 井上隆晶牧師
祝福の祈り
後 奏 (黙祷)
「ハレルヤ歌えよ」(日本聖公会聖歌集より)
H.Asai 作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 澤田昌人
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 未定
受付当番 屋宮英男

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9時30分)
・お話し: 井上万里子
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈祷会 (礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・11月19日(火) 午前8時30分
・11月22日(金) 午前9時
◇英会話グループ
・お休みです。

【次週主日 11月24日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)
・お話し: 澤田真弓
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)
・聖 書
✦ヤコブ 5: 7～11
✦マタイ福音書 13: 18～23
(新約 P.426、新約 P.25)
・教 話 井上隆晶牧師
『実りを待つ』
・讃美歌 21 388、85、386
・交読詩篇 詩編 96: 1～6
・司式補佐 井上万里子
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 山千代憲一
・受付当番 澤田真弓
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈祷会 (礼拝後)
◇収穫感謝鍋会 (礼拝後)

聖 句

「わたしは旅の間敵から守ってもらったために
歩兵や騎兵を王に求める事を恥とした。」

(エズラ 8章 22節)

【諸報告・個人消息】

①《今週の井上牧師の予定》: 17日(日) 午後2時「心なごむ会集会」(大阪聖愛教会)、18日(月) 午後1時30分「大宮保育園職員昼礼拝」、19日(火) 午後3時「シャロン千里指導監査～面接」

②《11月～12月の行事のお知らせ》

- 11月19日(火) 午前10時「心の病の勉強会」参加費 500円
- 11月24日(日) 「収穫感謝祭」、各自お野菜を一品持参して下さい。礼拝後「鍋会と教会懇談会」をいたします。会費は大人 500円、子どもは無料。奮ってご参加ください。
- 12月2日(日) 午後1時「定例役員会」、午後4時「松岡和子さん追憶記念会」
- 12月4日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」大阪YWCA本館2Fチャペル: 参加費 500円。どなたでも参加できます。
- 12月7日(土) 12時～午後3時「大阪YWCA クリスマスバザー」梅田本館。
- 12月15日(日) 午後2時「子どもクリスマス会」
- 12月17日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
- 12月22日(日) 「クリスマス礼拝」、「愛餐会」食事は持ち寄ります。
- 12月24日(火) 午後6時30分「クリスマスイヴ礼拝」

③【祈祷課題】

- 宗教法人を取り、広い礼拝堂を建築するため。
- 都島教会が外に向かって宣教する教会になるため。

④【先週の集会統計】

日	集会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
10	CS礼拝	—	3	4	7	¥950
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
10	朝の礼拝	7	14	3	24	¥22,920
12	朝の祈り	3	3	—	6	
15	朝の祈り	1	4	—	5	

【先週の説教要旨の続き】

天国はただそこに入れば誰でも幸せを感じるのでしょうか。そうではないでしょう。朝から働いた労働者たちは、夕方から働いた労働者が自分たちと同じように扱われ、同じ賃金を貰うのを見て、主人に文句を言いました。王子の婚宴の席に招かれたある人は、礼服を着るのを喜びませんでした。主イエス様は、天国に行っても喜ばない人、文句を言った人がいるとはっきりと言われたのです。パウロが言うように「神の国は、飲み食いではなく、聖霊によって与えられる義と平和と喜びなのです。」(ローマ 14: 17) 聖霊を獲得しなければ、天国に行っても喜ばないのです。聖霊は平和と喜びを運んでくるからです。私たちの人生とは、天国にふさわしい魂を用意することにあります。教会をいくら新しくしたとしても、あなたも苦勞しなければ喜びは薄いでしょう。復活祭でもそうです。知らないうちにレントに入り、知らないうちに復活祭が来ていた、それでどうして感動の涙を流すことができるでしょう。そうやって気がついたら一生が終わるのです。パウロもルターも自分の罪で苦しみました。苦しんだからこそ、そこからは解放して下さったイエス様の福音が有難く感じたのです。ある修道者が書いていました。「もしあなたがゴルゴダの丘に立っても、神の国に立っても、悔いし砕けた魂を持たなければ感動しないだろう」もっと涙の賜物をくださいと神様に祈りたいと思います。

⑤【11/10の献金報告】

[月定] 井上隆晶、臼井久美子 (計 22,000円) [感謝] 阪口恵美子、山地由紀 (計 16,000円) [互助] 井上隆晶、山千代憲一 (計 2,000円) [建築] 井上隆晶 (計 5,000円)